

## 新校舎完成 大調小学校



多目的ホールを一緒に利用することができず。

二階には、三つの特別教室と図書室、特別活動室、別館に音楽室とパソコン教室も整備されました。また、体育館が十六年度事業で、旧校舎跡地に建設予定です。

厳原町久根田舎に建設中だった大調小学校新校舎が完成し、三月十二日、新校舎多目的ホールで、落成式が行なわれました。

式では、佐伯市長職務執行者のあいさつの後、校舎引渡式、対馬教育事務所長とPTA会長の祝辞、学校長謝辞が行われ、児童代表で六年生の松本恵太君、斉藤一樹君、小麥洋市君三人が、「すばらしい校舎をありがとう。短い間だけ、たくさんの思い出を

作りたい。」と、お礼のあいさつをしました。式の後、アトラクションでは、全校児童による「大調太鼓」が演奏され、落成式に華を添えました。

木造二階建ての校舎は、延べ床面積千百三十三㎡、総事業費約三億九百万円で建設されました。一階には普通教室を四教室、校長室、職員室、保健室、事務室と百七十四㎡の多目的ホールが整備されています。多目的ホールと普通教室の壁は可動式で、教室と



## 最後の卒業式



今年三月で閉校になる鴨居瀬小学校で、三月十八日、最後の卒業式が行われました。最後の卒業生は、男子五名、女子二名の計七名です。

一年を通じて、花いっぱい活動に取り組んできた鴨居瀬小学校らしく、満開の菜の花が会場を彩っていました。記念品の授与では、先生達が手作りしてくれた思い出の写真いっぱいアルバムなどが贈られました。受け取った卒業生は感激いっぱいでした。

また、卒業生らは、廃校式で植えた桜の花が満開になる二〇二〇年三月二十八日に、再会することを約束して、巣立っていきました。

## お別れお茶会

三月十二日に比田勝保育所で、「お別れお茶会」が開催されました。これは同保育所が、お茶の講座を月に一回、五才児を対象に実施しており、その成果を試す機会でした。空組（年長組）の子供たち二十一人が、お世話になった手話の梅野吉朗先生、お茶の小島智子先生、お母さん達に日頃の感謝の気持ちを込めて、お茶を点てました。礼儀作法、言葉づかいなど丁寧で、全員上手にできました。

